

子育て支援の推進（出産祝金支給事業 等）

アナ： 「市長が語る 2022 三島」第4回の今日は、「子育て支援の推進」についてお話を伺います。豊岡市長、よろしくお願ひします。

市長： よろしくお願ひします。

アナ： 以前から三島市は、子どもや子育てを支援する取組みをととても活発に行っていらっしやると感じています。

市長： ありがとうございます。

私は、まちの将来の発展を担う子ども達は、三島市にとってかけがえのない存在であり、大切な宝物であると考えています。

保護者の皆様が、三島市で安心して子育てをし、子ども達が健やかに成長していけるよう、様々な面で子育て支援に積極的に取り組んでおります。

アナ： そのような中、三島市では今年度から、お子様を出産されたご家庭にお祝ひ金を支給する事業を始められているとお聞ひしました。

市長： はい。

お子様を出産するという事は本当に大変な事ですが、それと同時に、そのご家族にとっては大変嬉しい出来事であると存じます。

また、三島市にとりまして、輝かしい未来をもたらしてくれるお子様の誕生は、大変喜ばしいこととあります。

そこで、お子様の誕生を祝福し、健やかな成長を願うことはもちろんのこと、地域の宝物でもあるお子様の出産を成し遂げられた保護者の皆様やご家族をお祝ひするため、今年度から出産お祝ひ金を支給することといたしました。

アナ： 出産をすると、お祝ひをいただけることになったんですね。

それは、出産を迎えられる方や、これから出産を計画されているご家庭にとって、とても嬉しいニュースですね。

市長： このお祝ひ金には、『みしまっ子すくすく祝金』という愛称をつけることにいたしました。

市民の皆様を知っていただき、お子様の出産に希望を持って臨んでくださるきっかけの1つになればと願っております。

アナ： 可愛らしくて覚えやすいネーミングですね。

お祝ひ金の支給額も気になりますね。

市長： お祝ひ金は、令和4年4月1日以降に出産した保護者様が対象となりまして、第1子は1万円、第2子は5万円、第3子以降は15万円となります。

アナ： 第3子以降は15万円ということで、かなり大きな金額になりますね。この金額はどのようにしてお決りになったのでしょうか。

市長： 初めてのお子様になります第1子に対しましては、新たな三島市民の誕生と出産を成し遂げた保護者様を祝福するとともに、本事業の趣旨のご理解を図るために1万円といたしました。

第2子のお子様の誕生に対しましては、出産費用の負担軽減につながるよう、出産一時金と合わせて出産費用を概ね賄えるような金額の5万円といたしました。

また、第3子以降のお子様の誕生に対しましては、出産費用の負担軽減などに加え、ご家族に対する応援の意味も込めまして15万円といたしました。

詳しい内容につきましては、市のホームページをご覧くださいと思います。

アナ： なるほど。

それぞれの金額には、そういった思いが込められていたのですね。

よくわかりました。

市長： 全国的な少子高齢化が急速に進んでおりますが、三島市にたくさんの子ども達やそのご家族に暮らしていただき、元気と活気と賑わいがあり、未来に希望が持てるまちとして持続的に発展していくことを目指しております。そのためには、安心して子育てができる環境が欠かせませんので、子ども達と子育て家庭への支援をこれからも積極的に進めてまいります。

アナ： 子育て支援が手厚い三島市ですが、このような新しい取り組みによって、ますますお子さんが増えていってくると嬉しいですね。

今後もぜひ、子ども達と子育て家庭にも優しいまちづくりを積極的に進めていただけることを期待したいと思います。

豊岡市長、本日はありがとうございました。

市長： ありがとうございました。